

令和5年度普及活動アルバム

北信農業農村支援センター

北信地域は長野県の最北端に位置し、管内の一部は日本有数の豪雪地帯となっておりますが、地域の特徴を活かした先進的な農業が展開されており、水稻、果樹、きのこ類は全国をリードする産地となっております。

令和5年は暖冬でしたが、生育が進んだ4月は低温傾向となりました。数回にわたる凍霜害の発生により、果樹類を中心に大きな被害が発生しました。加えて6月の大雨や7月以降の高温少雨など、極端な天候に悩まされた1年でした。

ここ数年は新型コロナウイルス感染症により活動が制限されていましたが、令和5年度は集合形式による講習会や研修会が従来通りに実施できるようになりました。

管内は新規就農者が多く（令和5年29名（49歳以下）、青年農業者の育成を主とした「北信州農業道場」では、地域からの要望が高い果樹と野菜+花きの2コースと複式簿記等の5つの選択講座を開講し、新規就農者をはじめ多くの農業者に受講していただきました。農業道場の受講者は、今後、農業だけにとどまらず、地域振興の担い手としても活躍することが期待されます。



【4月~12月】 「北信州農業道場」各講座に加え、 新規就農者激励会、交流会を開催

新規就農者を主な対象として基本的な知識や技術力を養成し、就農を支援するための講座を開催。

- ・「果樹コース」
受講生 23名（修了者 15名）
- ・「野菜・花きコース」
受講生 14名（修了者 6名）

農業全般の基本的な知識の習得を目的に5つの選択講座を開催。

- ・「農業機械」「鳥獣被害対策」「農業簿記」「菌茸」「経営分析」
受講生 延べ 118名

新規就農者激励会を8月に開催し、新規就農者11名、先輩農業者10名、関係機関等あわせて45名が参加し、有意義な交流ができました。

12月には農業道場交流会が開催され、地域の青年農業者と道場受講者、関係団体等約40名が参加しました。農業青年クラブ員による意見発表・課題解決発表、青年クラブの活動紹介等が行われました。





**【5月】
スマート農業技術の普及拡大**

マルチコプター（ドローン）は水稲の防除に活用されつつありますが、他の品目では利用されていないことが多いため、小麦の追肥や水稲の直播栽培での活用を現地試験で検討しました。

バッテリーの消耗や離着陸の回数などの課題も確認されました。

この他、果樹園での草刈りロボットについても現地での導入が始まっています。



**【5月】
伝統野菜の生産振興**

管内には「ぼたんこしょう」、「ししこしょう」などいくつかの伝統野菜が栽培されています。

栄村で栽培されている「ししこしょう」では早期育苗・早期定植を行った結果、大幅に収量が増加しました。生産者の意欲も向上し、翌年も早期育苗・早期定植が行われる予定です。



**【6月～2月】
「ぶどう「シャインマスカット」の好適樹相への誘導と省力化技術による生産安定（重点活動）」**

生産量が増加しているぶどう「シャインマスカット」の生産安定のため、優良園の実態調査による好適樹相の指標作成や省力化技術の検討、初心者のための作業動画の作成をJAと連携しながら行いました。令和6年度は3年間の成果をまとめて、生産者にも紹介していきます。



**【8月】
「農業士協会北信ブロック研修会」
の開催支援（農業士協会下水内支部）**

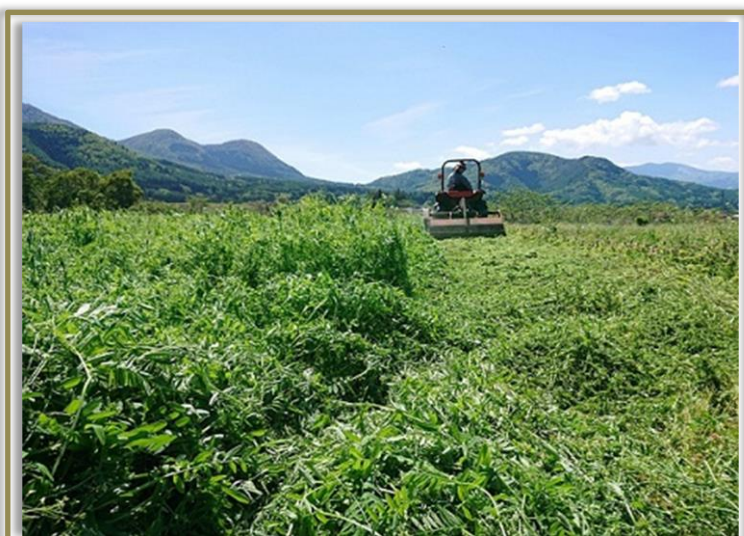
県北部には農業士協会の3支部（管内は2支部）があり、下水内支部管内2戸の園地視察を行いました。2園地とも園地集積が進んでいることから、「今後は農地が集まってくる」という予測や「農地の集約の具体的な方法」について情報交換が行われました。



**【8月】
「北信州農村女性のつどい」の開催
支援**

令和5年度のテーマは「雪国からの発進!!」。雪国に移住した新規就農者などの取り組み事例の発表を行い、150名の参加がありました。参加者からは雪国の良さを見直すことができたとの意見が多く聞かれました。

フリーマーケットも復活し、例年通りの開催に近づきつつあります。



**【9月】
「環境にやさしい技術導入の検討
（中山間地ルネッサンス事業）」**

近年の肥料価格高騰対策と環境にやさしい技術導入のため、緑肥（ヘアリーベッチ）を活用した化学肥料の減肥試験を行いました。

減肥効果の確認はこれからですが、9月上旬と10月上旬に2品種をは種し、翌年5月上旬に鋤込み、減肥してネギを定植予定です。

（写真はR6年5月）



**【10月】
「下高井農業青年の会ぽぷり」、「飯水農業青年クラブ」の直売イベント参加**

「下高井農業青年の会ぽぷり」は愛知県名古屋市、「飯水農業青年クラブ」は中野市の直売イベントに参加し、会員が生産した農産物を直接消費者に販売しました。

後日、2つのクラブの交流会を行い、販売報告や販売方法で工夫した点について情報交換を行いました。



**【11月】
「農村生活マイスター協会」で支部間交流会（下高井支部・下水内支部）を開催**

合同で郷土料理講習会を行いました。お隣の地域同士で同じ郷土料理がありますが、実際に一緒に調理してみると、食材や味付け、作り方にも微妙な違いがあることがわかり、有意義な交流会となりました。



**【12～3月】
「地域計画」地域での話し合い**

管内6市町村の多くの地域で12～3月に地域単位で地域計画策定に向けた取り組みが行われました。

グループワークによる話し合いを数回行う地域もあり、地域の将来について意見を出し合い、考えを深めていくことができた地域が増えました。